

石油産業が目指すべき方向 (石油産業の成長戦略)

2014年2月

石 油 連 盟

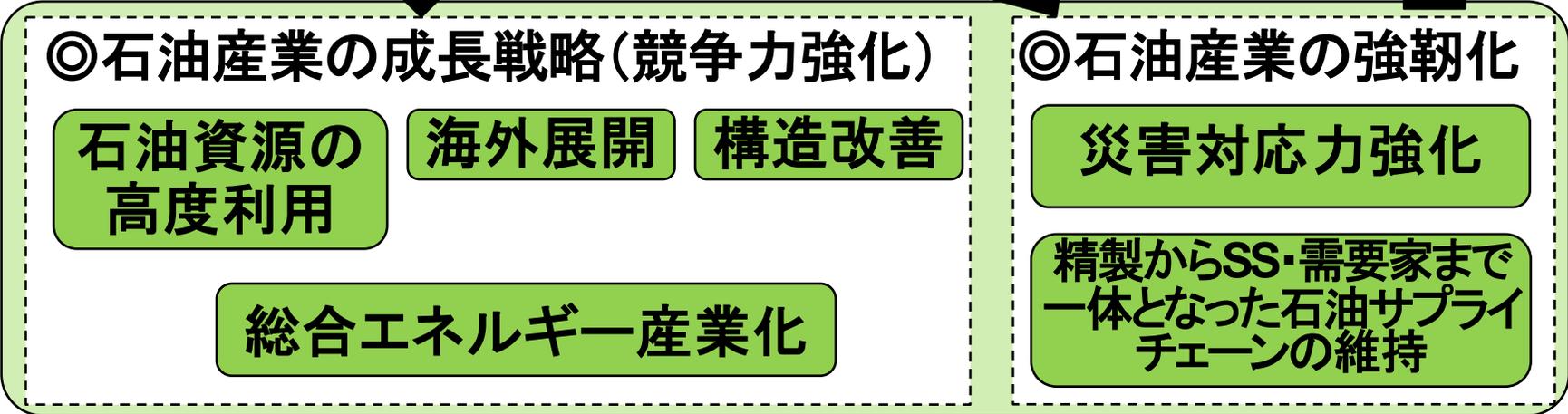


国の重点施策
(成長戦略)

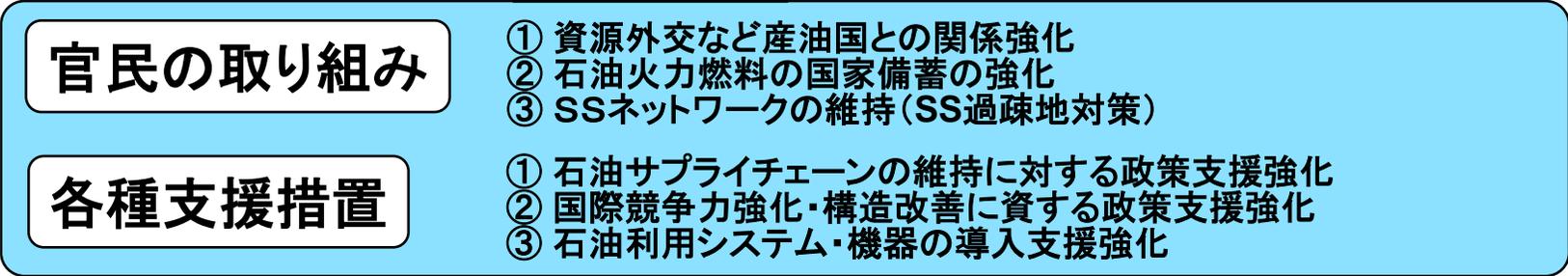


石油の安定供給

石油産業が
目指すべき
方向



石油産業政策
への提言



エネルギー政策
への提言



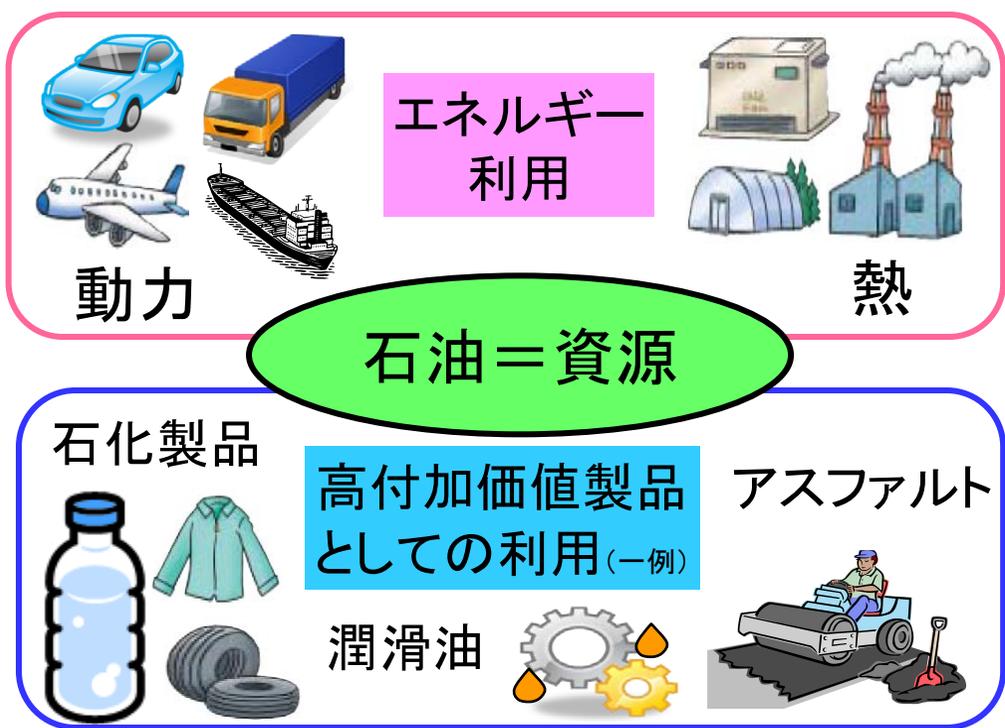


石油産業の成長戦略(競争力強化)

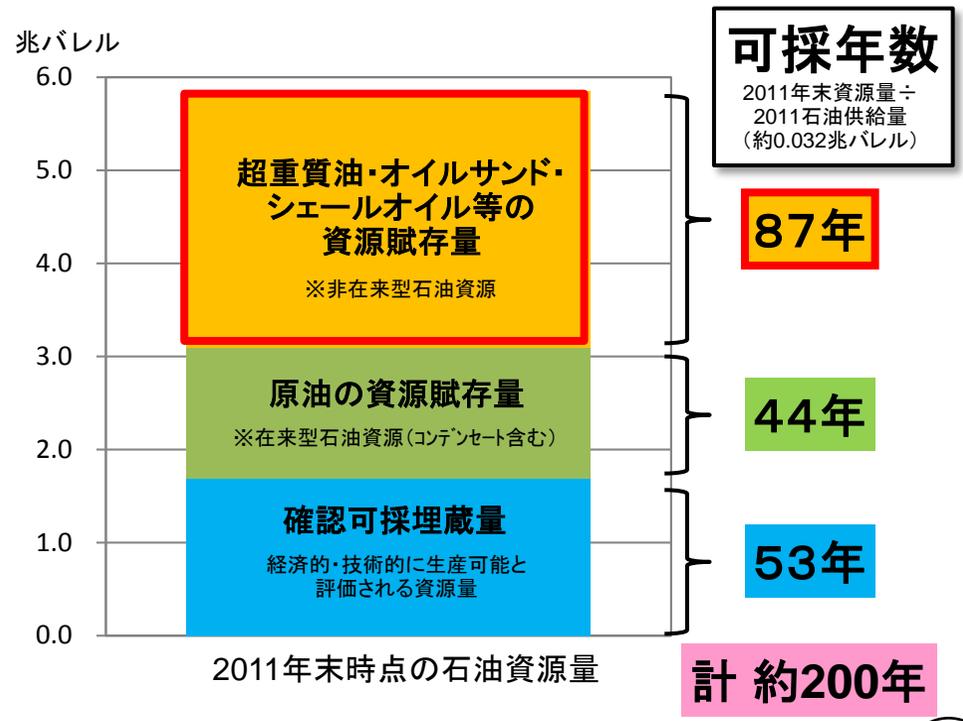
石油資源の高度利用

- 石油資源の有効活用・高度利用に徹底的に取り組めます。
 - 単なるエネルギーから、エネルギーと石化製品・潤滑油など高付加価値製品への生産シフトなど石油資源の高度利用
 - 省エネ・重質残渣の有効活用、特殊原油の処理など

石油の主な用途



石油の資源量と可採年数



(出所) IEA World Energy Outlook 2012。可採年数は石油連盟にて計算



- 国内石油需給動向を勘案した機動的な石油製品の輸出体制の構築、石化製品・潤滑油など高付加価値製品の輸出拡大やアジア新興国への市場参入など**本格的な海外展開**を目指します。

海外展開の取組み事例

ベトナム・ニソンでの製油所新規建設



- ①ニソン経済区に新規製油所・石油化学工場を建設
(常圧蒸留装置能力:20万バレル/日)
- ②出資比率:出光興産35.1%、クウェート石油公社35.1%、
ペトロベトナム25.1%、三井化学4.7%
- ③2017年 商業運転開始予定

韓国でのパラキシレン生産(装置新增設)

※原料の一部は国内より輸出

①運転中(2013年1月商業運転開始)

- ✓コスモ石油・ヒュンダイオイルバンク(韓国)
- ✓能力80万トン/年をデサン製油所に建設

②建設中(2014年8月運転開始予定)

- ✓JX日鉱日石エネルギー・SKグローバルケミカル(韓国)
- ✓能力100万トン/年をウルサン石油化学工場に建設中

③検討中(基本覚書締結済)

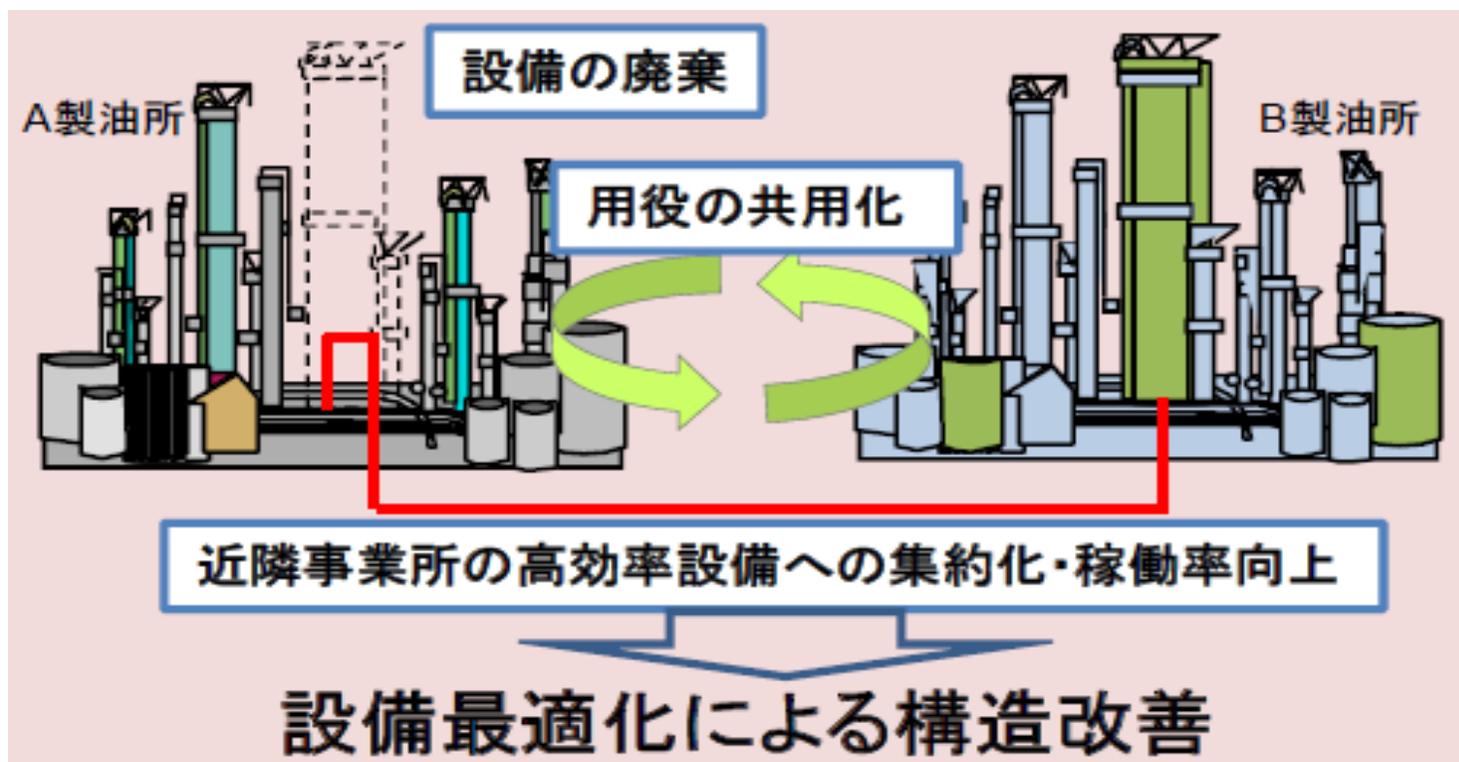
- ✓昭和シェル石油・太陽石油・GS-Caltex(韓国)
- ✓能力100万トン/年を麗水市に建設検討中



デサン製油所に完成した
パラキシレン製造装置
(出所)コスモ石油HP

- 市場環境の変化に応じて、国際競争力強化に向けた製油所・コンビナートの構造改善に取り組みます。
- 製油所の事故削減を目指して、石連で策定した自主行動計画に基づいて、保安・安全体制を強化します。

製油所・コンビナート構造改善のイメージ





- エネルギーシステム改革を見据え、石油のみならず、消費者が求めるエネルギーを供給する総合エネルギー産業化への取り組みを進めます。

総合エネルギー産業への取り組みイメージ

